

道徳はこんな内容です

道徳教育は

- ・人間が本来もっている「よりよく生きたい」という願いや「よりよい生き方を求め実践する人間」の育成を目指し、その基盤となる道徳性を養う教育活動です。
- ・小学校では、人間としてよりよく生きるために共通の心構えや行動の仕方を様々な体験や学習を通して学びます。基本的な生活習慣やルール・モラルの指導をしたり自然体験活動やボランティア活動などの体験活動をしたりして道徳性の育成を図っていきます。

3年生はこんな学習をします

1 自分自身に関すること

- ・自分でできることは自分でやり、節度のある生活をする。
- ・よく考えて行動し、過ちは素直に改める。
- ・自分でやろうと決めたことは、粘り強くやり遂げる。
- ・正しいと思うことは、勇気をもって行う。
- ・正直に明るい心で元気よく生活する。

2 他の人とのかかわりに関すること

- ・礼儀の大切さを知り、誰に対しても真心をもって接する。
- ・相手のことを思いやり親切にする。
- ・友達と互いに理解し、信頼し、助け合う。
- ・生活を支えている人々や高齢者に、尊敬と感謝の気持ちをもって接する。

3 自然や崇高なもののかかわりに関すること

- ・自然のすばらしさや不思議さに感動し、自然や動植物を大切にする。
- ・生命の尊さを感じ取り生命あるものを大切にする。
- ・美しいものや気高いものに感動する心をもつ。

4 集団や社会とかかわりに関するもの

- ・約束や決まりを守り、公德心をもつ。
- ・働くことの大切さを知り、みんなのために働く。
- ・父母、祖父母を敬愛し、家族みんなで協力し合って楽しい家庭を作る。
- ・先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合って楽しい学級を作る。
- ・郷土の文化や伝統を大切にし、郷土を愛する心をもつ。
- ・我が国の文化と伝統に親しみ、国を愛する心をもつとともに、外国の人々や文化に関心をもつ。

道徳教育の評価について

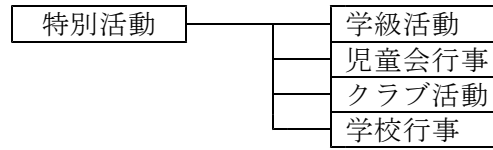
- ・道徳教育においては、児童の人間的な成長を見守り、よりよく生きようとする努力を認め、勇気付けるために、観察、質問紙、作文などを利用して道徳性の共感的理解に努め、その結果を指導に生かすようにしています。
- ・道徳の時間に関しては、数値などによる評価は行いません。

特別活動はどのような学習なのでしょう

特別活動の目標

望ましい集団活動をとおして、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的・実践的な態度を育てるとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を養う。

特別活動には、次のような活動があります



(※クラブ活動は4～6学年)

学級活動はどのような活動なのでしょう

学級活動はこのようなかいで活動します

学級を単位として、学級や学校の生活の充実と向上を図り、健全な生活態度の育成に資する活動です。

◎ 集団の一員としての自覚を育てる

係り活動や話し合い活動の役割分担、決まったことを実践する過程での役割分担などを遂行する中で、学級の一員としての自覚を高めるとともに、自分らしさ発揮できるようにする。

◎ 豊かな人間性や社会性を育てる

人とのかかわりのなかで相手を思いやる心を持ち、役割を自覚し、責任をもって行動できる。

◎ 好ましい人間関係を築く

多様な集団活動を通して、互いを認め合う関係を築く。

◎ 協力してよりよい生活を築こうとする自主的実践的な態度を育てる

諸問題を一人一人が意識し、知恵を出し合ってよりよい結論を見出そうとする自主的、実践的な態度を育てる。

◎ モラルやルールを身につける

集団活動を通して、社会生活を営む上での基本的なモラルや社会生活上のルールを身につける。

◎ 防犯・安全に対する意識を高める

安全マップの作成や安全教室を通して、防犯・安全に対する意識を高める。

特別活動の評価について

・特別活動の時間に関しては、数値などによる評価は行いません。